

- ◆国民の声が政治を動かす年に
- ◆貧困と格差をなくし、平和と暮らしを守る2・14長野行動
- ◆国会開会
- ◆「思い出のアン」感想文
- ◆加盟組紹介：長野赤十字病院労働組合

※このニュース1面は、「総がかり行動実行委員会」に結集する「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」ニュースを参考に作成しました。

2016年

憲法を守り いかし

国民の声が政治を動かす年に

今年こそ平和な年に

2016年がスタートしました。「今年こそ、平和な年に」「今の日本は戦争へと向かっているようで怖い。いつまでも、『戦後』が続いてほしい」多くの方々の願いです。

憲法違反の「安保関連法」(＝戦争法)の「強行採決」から3カ月半。国民の不安と怒りはおさまりません。安倍政権は、「新三本の矢」や「軽減税率」を打ち出し、戦争法成立への怒りを忘れさせようと必死です。でも、国民は、決して忘れていません。

「2000万人署名」で戦争法廃止へ

「民主主義って何だ！」と青年が声をあげ、「誰の子どももころさせない」とママたちが声を上げた2015年。流行語大賞のトップテンに、「アベ政治を許さない」「SEALDs」が選ばれました。「国民の声を無視して『戦争する国』へと暴走するアベ政治をストップさせ、国民の声が届く政治に変えたい」その声が広がっています。

一人ひとりの「戦争だけはイヤだ」の思いを「戦争法廃止を求める2000万人署名」に集めましょう。そして、「2000万人署名」で、「野党は共闘してほしい」という国民の願いを示し、国民の声で政治を動かしましょう。

戦争でテロはなくせない

テロの脅威、恐怖が世界に広がっています。戦争でテロをなくすことはできません。新たな憎しみを生み、報復の連鎖を生み出すだけです。もし、日本が戦争法を根拠に対テロ軍事作戦に参戦すれば、日本がテロの標的にされてしまいます。危険な戦争法の発動は止めなければなりません。

憲法をいかした平和外交こそ

国連は、IS資金源を遮断するなど、国際協調によるテロ根絶の道を追求しています。また、各国の有識者からは「テロを根絶するためには、テロ組織に青年を向かわせる土壌となっている差別や貧困をなくすことこそが求められる」との発言もされています。

日本国憲法第9条は、対話による紛争解決の道を示しています。そして、憲法前文は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」と高らかにうたっています。日本国憲法を守り、いかすことこそ、テロも戦争もない世界への道です。

私たちも行動しましょう

貧困と格差をなくし、平和と暮らしを守る2・14長野行動

働く者の願いを込めたチラシをみんなで地域に配りましょう。

■とき：2月14日(日) ■会場：高校教育会館大会議室(別館2F)

■日程：【決起集会】10:00～ 【チラシ配布行動】11:00～12:30

★配布チラシ組作業2月12日(金)18:00～ 会場：高校教育会館大会議室(別館2F)

1月4日 国会開会 平和と暮らしを守る政治に

◆第190通常国会が1月4日開会しました(会期は6月1日までの150日間)。例年は1月下旬召集の国会です。異常に早い開会です。

◆安倍政権は昨年の通常国会を95日間も延長し、戦争法案や派遣法改悪案を、圧倒的な反対世論に背き強行しました。また、国会閉会后、内閣を改造したにもかかわらず、野党の憲法53条にもとづく臨時国会開催要求も拒否し、臨時国会を開かず、TPPや米軍新基地建設など重要な問題を一度も国会で審議してきませんでした。

◆それなのに安倍政権は、自らが臨時国会を開かなかつたことを、異常な早期開会の口実にしています。早期開会の真のねらいは、報道によると、参院選投票日の選択幅を広くし、衆参同時選挙も可能にするものであることが指摘されています。

◆さらに、安倍政権は、「緊急事態条項」の追加を口実にした明文改憲をねらっています。自民党の「改憲草案」では「緊急事態条項」を「(要約)内閣総理大臣は、日本有事、内乱など社会秩序の混乱、大規模自然災害の際に、緊急事態の宣言ができ、法律と同一の効力を有する政令を制定することができ、地方自治体への指示ができ、基本的人権の制限ができる」としています。こんな条項が追加されれば、まさに「安倍独裁政権」です。

◆平和と暮らしを守るために、職場や地域で、みんなの力を合わせましょう。

長野市「憲法9条の会」連絡会10周年企画

反戦・平和映画と講演連続企画

第1回(12/8) 映画「思い出のアン」を観た

★小学生の感想を紹介します★

私は、先日「思い出のアン」という映画を見せていただいた者です。とても素晴らしい映画だったので感想の手紙を送らせていただきます。

平和な世の中で、11年間生きてきた私にとって、この映画はとてもしょうげきのなものでした。

70年前、日本が終戦し、たくさんの兵隊さんたちが命を落としたことは知っていたけれど、これほどまでにひどいとは思いませんでした。

あのようなひどいことをした警察。今ではいざとなったら、とても頼りになる方たちですが、昔とちがいすぎてびっくりしました。戦争となると、ひがいにあった日本人を思い浮かべてしまいがちでしたが、外国の方も迫害を受けていて、辛かったと思います。とてももうしわけない気持ちでいっぱいになりました。

「お国のために」命をなげだすなんて、どんな気持ちだったんだろう…。考えたこともなかったけど、普通の状態ではなかったと思います。

戦争は、勝ったとしても、何も良いことはありません。むしろ、殺し、殺され、たくさんの人々が血を流し、命を失った「証」のようなものかもしれません。

残念ながら、小学生の私に出来る事は、今から勉強して、世の中の役に立つ人になることくらいしかありません。でも、みなさんの活動がきっと実を結ぶよう、心から応援しています。その意思をつらぬき通してください。

★私たち大人へのメッセージですね★

第2回は1/24(日) 映画「ひろしま」上映と講演会

会場：長野市勤労女性会館しなのき

①講演 10:00 上映 10:30~12:15

②講演 14:00 上映 14:30~16:15

加盟組合紹介

長野赤十字病院労働組合

★安心安全な医療が出来る職場づくりを

明けましておめでとうございます。全日赤十字病院(長野赤十字病院労働組合)です。

近年変わらず医師・看護師不足が深刻化しており、過酷な労働環境となつています。私たちはその過酷な労働環境を打破し、明るく働きやすい職場づくりを目指し日々奮闘しています。

昨年の秋季年末闘争において、長野単組は0・1ヶ月増でした。しかしながら、病院の収益の減額に伴い年末年始手当が削減されるなど、その他不満の残る妥結となりました。年が変わり今年は診療報酬が改定される年となり厳しい闘いが予想されますが、昨年を上回る回答を引き出し、サービスクラスを無くし、夜勤改善、医師・看護師増員を訴え安心安全な医療が出来る職場づくりに努めていきます。

書記長 井田 司